

探

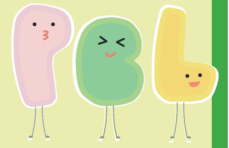
# 県立図書館で探究・PBL



図書館で探究をもっと深く、おもしろく!

インターネットで調べても分からないときは?

図書館でより正確で役立つ情報やたくさんのヒントが見つかります!



## 1. 課題の設定

### ① 図書館で課題を見つけよう



図書館活用のヒント

ブラウジング

ブラウジングとは、目的の本を決めずに、本棚に並んでいる本の背表紙を眺めてみたり、ぱらぱらめくってみたりすることです。

図書館の本は主題(テーマ)にそって並んでいます。検索でうまく見つけられなくても、自分になかった視点から思わぬヒントが見つかるかも!?



### 最新情報を課題に取り入れたいときは…

本がまだ出版されていないような最新の情報を調べるには、雑誌や新聞など刊行頻度の高い情報源が有効です。オンラインデータベースでも、新聞・雑誌記事の検索が可能です。

インターネット検索には、適切なキーワードを用いることも重要です。まずは基礎的な情報を収集しましょう。調べたいことにどんな言葉が使われているのか分かれば、その後のインターネット検索でも、より有効な情報をヒットさせることができます。

### ② 県立図書館で使える情報源の特徴

図書館には、本はもちろん雑誌、新聞、データベースなど様々な情報源があります。それぞれの情報源の特徴を組み合わせることで、多角的かつ正確な情報を集めることができます。

県立図書館の蔵書数は約160万冊! 古いものから最新のもの、入門書から専門書まで、多様な情報を蓄積しています。岡山県に関する情報は、本や雑誌はもちろん行政機関刊行物やフリーペーパーまで豊富にそろっています。新聞も全国紙から地方紙、専門紙まで幅広く購入しているので、各社の報道を読み比べることができます。



インターネットを閲覧するためのタブレットの貸出しや館内Wi-Fiの利用が可能です。情報の信頼性や、過去のページが消えてしまう可能性には注意が必要です。

特定の調べものに特化したデータベースからは、最新かつ信頼性の高い情報が得られます。当館の利用者カードがあれば無料で利用することができます。



## 2. 情報の収集

### ① 情報収集の計画を立てよう

課題が決まったら、必要な情報は何か、どうやって調べるか計画してから調べ始めると、効率的に情報収集することができます。

#### どんな情報が必要？



根拠になる  
数値がほしい！

同じような事例  
があるかな？

#### 基礎知識・周辺情報

まずはここからスタート！事典類や入門書で確認しましょう。インターネット上の百科事典も概要をつかむのに便利です。その際、出典や参考文献は必ず確認しましょう。

#### 現状

インターネット、新聞、雑誌など、速報性が高いものが有効です。新聞や雑誌記事検索にはデータベースが便利です。

#### 先行事例

専門書や学術雑誌で確認しましょう。データベースで検索すると、該当する論文の掲載誌が確認できるほか、全文や要旨を閲覧できる場合もあります。

#### 統計

最新の公的統計は、e-Statなどのホームページから見られるものがほとんどです。各種業界団体や民間調査会社などが行う統計調査は、実施団体のホームページや刊行物などで見るができます。インターネットで見つからない過去の統計調査は、ぜひ図書館にお尋ねください。

#### どうやって調べる？

情報源の特徴を  
思い出そう！

複数の情報源で  
調べてみよう！



#### インターネット(オンラインデータベース)

論文

(CiNii、GoogleScholar)

政府統計

(e-Stat、RESAS)

絶版資料など

(国立国会図書館デジタルコレクション)

新聞

雑誌

本

#### 県立図書館 契約データベース

雑誌記事索引・論文情報

(Web OYA-bunko、  
MagazinePlus、医中誌Web)

新聞記事検索

(sandex、朝日クロスサーチなど)

農業関連情報

(ルーラル電子図書館)

商圈レポート

(市場評価ナビMieNa)

辞書・事典など

(ジャパンナレッジ)



## ② 県立図書館の蔵書検索

県立図書館の本は、ホームページから検索することができます。  
検索後は、予約したり、学校図書館へ取り寄せしたりできます。

**「件名」や「分類」を使いこなそう!**

その本の主題（テーマ）を表す「件名」や「分類」を使った検索にも注目！**書名検索ではヒットしない本も探すことができます。**

**蔵書検索の便利な機能**

検索結果の画面でクリックすれば、同じ「分類記号」「件名」の本が一覧で表示されます。**同じような内容の本**を探したい時に使ってみよう！

検索条件

資料種別  一般図書  一般雑誌・新聞  児童資料  郷土資料  外国語資料

キーワード1

キーワード2

キーワード3

キーワード4

キーワード5

請求記号

検索結果

タイトル **高校生のための「探究」学習区**

人名 廣瀬 志保 / 編著

人名ヨミ ヒロセ シホ

出版者・発行者 学事出版

分類記号 375

件名 学習法

検索しても**ヒットしない!**  
ヒット数が**少ない!**

**キーワードを変えてみよう!**  
キーワードのちょっとした違いで、  
ヒット数が大きく変わることがあります。

- ・ 言い換える (例: 昔話 ⇒ 民話、SDGs ⇒ 持続可能な開発)
- ・ 範囲を変える (例: 岡山 ⇒ 中国地方、恐竜 ⇒ 古生物)
- ・ 単語に区切る (例: 高校生の探究学習 ⇒ 高校 探究)

## ③ 情報の信頼性を確認しよう

参考にするにあたっては、右のようなことを確認し、その情報が信頼できるか検討しましょう。  
また、複数の資料や情報源を調べ、様々な事例や意見を収集することも大切です。

- いつ誰が発表した情報が
- 参考文献や引用など、根拠が明確になっているか
- 複数の資料や情報源に当たってみたか

## ④ 調べた情報は記録しよう

調べた本については、書名・著者名・出版者・出版年・ページ数などを、ウェブサイトについては、サイト名・アドレス・最終閲覧日などをメモしておきましょう。後で調べなおす時や、参考文献として記載する時に必要です。気付いた点や疑問に思った点も残しておく、課題や解決策を考える参考になります。

## 一次情報と二次情報

一次情報とは、インタビューや実験などを行って自分で直接収集した情報のこと、二次情報とは、本・論文・Web情報などの伝達、編集された情報のことを指します。  
一次情報を集める時にも、二次情報から得た知識が役立ちます。また、インタビューや実験などで得た情報を使って二次情報を検索すると、新たな発見があるかもしれません。組み合わせて活用しましょう。

### ➔ 情報が集まってきたら…

情報が集まってきたら、それらを整理して分析しましょう。④で記録したものが役立ちます。適切な思考ツールや図表を用いることも有効です。分かりやすい発表や、ポスター・スライド作成の参考になる本もたくさんありますので、ぜひ活用してみてください。

### ➔ 探究のプロセスをくり返そう！

課題の規模が大きすぎる、高度すぎるなどの問題で、研究がうまくいかなくなることもあります。その時は、思い切って「1. 課題設定」に戻ってみましょう。探究のプロセスをくり返す中で問題が絞り込まれたり、自分の知識や興味が深まったりして、よりよい課題が見つかるかもしれません。

### ➔ 見つかった資料を 学校図書館で利用したい！ そんな時は…



#### 図書館活用のヒント

### 学校図書館での 取り寄せ・返却

県立図書館が遠くて直接行くのが難しくても、学校図書館に  
県立図書館の本を取り寄せることができます。

また、直接県立図書館で借りた本を学校の図書館で返却する  
こともできます。

- ※取り寄せの方法など、詳細は各校の学校司書におたずねください。
- ※その他、県立・私立学校のみなさんが利用できる便利なサービスについては、右のQRコードよりご覧ください。



### ➔ 探してみたけど 見つからない！ そんな時は…



#### 図書館活用のヒント

### レファレンスサービス

図書館には、司書が皆さんの調べものをお手伝いする「レファレンスサービス」があります。あいまいな質問でも構いません。お話を聞きながら、必要な情報や資料を探り、ご案内します。

県立図書館に依頼する時は、窓口のほか、電話やホームページからも依頼できます。まずは学校の図書館で探したり、相談してみよう！

より早く・より良い情報に  
アクセスできるよう  
サポートします！



## 自分と世界を図書館で 探ろう！ 究めよう！

